

## 前回10月28日の例会記録

### 出席の状況

会員数 56名 (内出席免除 3名) 出席者数 47名 欠席者数 9名  
出席率 85.45% 前々回訂正 89.09%  
欠席者 樋口, 加戸, 河田, 小橋, 永見, 大賀, 竹本, 坪井, (平野)

### S.A.A.



渡辺会員

結婚記念の祝いのお花、ありがとうございました。



横山会員

先日の野球部の親睦会には急な用で出席できず申し訳ありませんでした。西岡さんが急に出席されたそうで料理の数の面では迷惑をかけなかったそうで助かりました。西岡さんありがとうございました。



原田会員

野球部のみなさん、はまゆう来店ありがとうございました。ガンバッテください。



西岡会員

・先週、昨日と福永選手から恩恵を受けましたのでスマイルします。  
・昨日、ゴルフにて、自己ベスト90(44, 46)になりましたので、スマイルします。



氏房会員

前回の例会、出張の為出席出来ませんでした。今日も商用の為早退しますのでスマイルします。



菊井会員

遅くなりましたが、先日は結婚記念のお花を頂きました。ありがとうございました。



川西会員

先週の19日(土)~20日(日)愛媛県西条市の石鎚山(標高1982m)に山登同好会の岡本和夫会員・児島正典会員・高橋峯男会員と私川西、更に米山留学生の楊さん・元北西RC中西広一郎会員の6名で登って来ました。私が雨男なのか、台風27号のせいか、天候に見放され、最悪の雨、そして山頂までの道のりは想像を絶する、嫌というほど果てしなく続く階段との戦い、更に当然ではありますが、頂上での視界は最悪の状態で何も見えず、又、楽しいはずの昼食も雨と一緒に口に入れました。その後、皆なで山頂にありますが石鎚神社に参拝しその後下山開始、岡本会員のような強靱な体に恵まれていない私は、下山途中で体力の限界を感じ苦しみながらやっとの思いで登山口に帰ることが出来ましたが、往復所要時間約6時間の苦闘でした。石鎚山には神々が住んでおり身体を清めてから入山するための神社が途中にあります。しかし誰とは申しませんが、この時点で早々と2名の脱落者がでて残る4名にて山頂を目指すことにしました。誰しも、一生の内にはいろいろな試練があります。「石鎚山の神々と一緒に同行して頂いたメンバー」の皆さん有難うございました。



以上、7件 30,000円(累計 348,000円)

### 会長報告

今月1日から1週間は法律の日でしたので、今日は少し法律の話させていただきます。イスラム教には同害報復刑というのがあって「目には目を」で被害者が受けたものと同程度の報復を加害者に科するというイスラム教の刑罰です。バハラミーさん27という敬虔なイスラム教徒(女性)のお話です。「あなたのお母さんに頼まれてジュースを持ってきた」と外で声がするのを聞いたバハラミーさんが自宅玄関のドアを開けると見知らぬ女性がバケツを持って立っていた。ポットを取りに台所に戻ると、女性は後ろから棒で殴りバケツの液体を浴びせかけた。硫酸だった。全身の7割にやけどを負い、顔は何の隆起もなく、鼻孔がむき出し皮膚はつり上がって「ショックを受けているから」と子供には顔をガーゼで隠し、見せてないそうです。最高裁の判決で刑が確定し、テヘランの司法病院で刑の執行が予定され女性の代理人が点眼容器に入れた硫酸を加害者の目に垂らそうとした瞬間、立ち会っていた女性は「許します」と停止を求めた。加害者は泣き崩れたそうです。女性は後に「許しという行為には、報復にない喜びがあった」と述懐しています。ロータリーの中核的価値観の中に、ロータリアンは寛大であることと書かれています。バハラミーさんの様なことは、なかなか出来るものではありませんが、些細なことは、まず「許す」ということから始めませんか。

会長 横山 俊彦



1. 11月のロータリーレート1\$=¥100です。
2. 会員名簿シール配布(笠原会員、福島会員、仲田会員)
3. 1000回例会が来年1月20日になります。理事・役員会で内容等を検討してまいります。
4. 第2回IDMを12月5日に済生会病院で開催予定です。改めてご案内させていただきますのでご参加宜しくお願い致します。



## 例会プログラム

### イニシエーション・スピーチ

#### ○菊井 慎也 会員

菊井慎也と申します。宜しくお願いいたします。私がロータリーに入会することになりましたのは、以前から相原さんから誘われていたのですが、たまたま相原さんと神戸で取引で同行してもらうことになり、そのとき、一生懸命パソコンでなにか報告書を作っていて、「先生何しよん」と聞いたら、「ロータリーの報告書」と、そのとき先生が「ロータリー入らん?」ときいてきたので、適当に考えてみると言ったのですが、その後、山田さん入江さん、相原先生と飲み会をセッティングされ、あれよあれよといわんばかりに、今日この日を迎えました。



私の簡単な自己紹介ですが昭和45年5月19日岡山人、おうし座、AB型、兄弟は相原さんと同級生の姉が一人です。津島小学校、京山中学、高校は、ここにも先輩がいっぱいいますが、関西高校を卒業。大学は福山大学工学部生物工学課に入学致しましたが、私、高校時代に居酒屋でアルバイトをしており、そのときの先輩の大学生の方とよくつるんでいたのですが、その大学生のかたに聞きますと、大学は4年間遊びにいくところだ、と教えていただいていたので、大学に入学してそのとおり実践したら、一年目で留年が決定しましたので、そのまま、自主的に卒業させていただきました。その後、大阪にでまして、就職しました。就職先は、現在は大手になったのですが、現三菱UFJ不動産販売、私が入社したときは、旧東洋住宅販売、もともと、三和銀行系の信託銀行で岡山には当時ありませんでしたが、東洋信託銀行の子会社で個人のお客様の不動産を取り扱う会社で14年間勤務いたしました。梅田で2年、茨木市で8年、梅田に戻って2年、神戸に2年勤務いたしました。その当時の業務内容ですが主に信託銀行の個人、法人のお客様の不動産の売買の仲介や、銀行が遺言信託を受託したお客様の遺産整理に伴う不動産の売却や有効活用などの業務や、法人様の土地や事業所の売却などをおこなってまいりました。ただ、私が入社したのは、バブル崩壊後に入社いたしましたので、今日まで不動産業でいい思い出をした記憶がございません。入社したときは売主様に対して毎日のように価格をさげましょと、今もそうですが、いってまいりました。そして前会社を円満退職いたしまして、岡山に戻ってきました。現在は父が創業した株式会社ダイシンの代表取締役社長をしております。当社は賃貸から売買まで不動産業全般を営んでおり父の代から創業して43年になります。私も不動産業に携わりまして、今年で23年になります。私の家族ですが、22歳のときに一度目の結婚をいたしまして、まあ出来ちゃった婚なのですが、現在20歳の長女(同志社大学)、18歳の長男(大阪産業大学にラグビー推薦で今年入学しました)、15歳の次女(中学生)をもうけましたが、諸事情があり10年目のスイートテンに離婚いたしました。そして、今の嫁と岡山に帰る直前に二度目の結婚をいたしまして、昨年双子の娘が生まれました。現在、子供は5人おります。前の嫁の子供と今の嫁は、一緒に海外旅行に行く程仲が良く、まえの子供たちも、お正月と、お盆にはおじいちゃん、おばあちゃんに会いに来てくれますので、まあ、わたしは、いい加減な人間なのですが、周りはちゃんと育ててくれており、日々感謝しております。私がロータリーに入るまではロータリーはボランティアの団体とはあまり認識がありませんでした。父が以前ロータリーに入っておりましたので、クリスマスには、国際ホテルでパーティーをするぐらいの思い出しかなかったのですが、よく思い出してみると中学生のときに、ロータリーの関係で、外国人が短期のホームステイに来ていた思い出があります。私もロータリーに入ったのだから、これからは、心を入れ替えてまっすぐに生きなければいけないと思うのですが、ひとつだけ、私自身というか、会社で奉仕していることがあります。きっかけは、数年前、国が国民に対して、いくらか給付金をもらえる時があったと思うのですが、たしかそのとき、私で15,000円ほど頂いたのですが、そのお金を嫁から受け取りまして、どうせこのまま財布にいれたら、今夜にでも中央町か田町辺りに消えてしまうので、何か有効に使うとおもって、いろいろ考えた挙句、このお金を寄付しようとおもいました。ただ、寄付するにしても身近なところに寄付したいと思い、会社の近くにある、児童養護施設の聖園子供の家に寄付いたしました。そのとき、このままもっていたら、夜の街に消えてしまうので、寄付しに来たことを説明いたしまして、先方も快く受け取っていただきました。それから、会社の利益が出ますと、少しではありますが、いくらか寄付させていただいております。また、それが縁で、聖園の子供の家の園長先生から、これから卒園する者の家をさがして欲しいと相談がありましたので、だれも身内がない卒園者や、身内がいても引き取り手のいない子の家探しをさせていただいております。高校を卒業する歳になったら、卒園しなければならず、まだ若い子たちの、少しでも力になればという思いで無料でしておりますので、卒園者の将来の成功を願って、諸費用の一部を会社で負担して入居しております。ただ、私、園長先生の願いも届かず、裏切られることもあり、家賃滞納や連絡ができなくなったり、いろいろありますが、そのことにはめげず、これからも、卒園者への家探しの協力や、寄付等はつけていきたいと思っております。最後にロータリークラブに私を迎え入れて下さったことに、感謝の気持ちを申し上げますとともに、これからロータリアンとして一人前になれるよう日々努力いたしますので、諸先輩がたのご指導ご鞭撻を受けたまわれますよう、宜しくお願いいたします。予定時間より少し早くなりましたがこれで私の自己紹介を終わらせていただきます、ご清聴ありがとうございました。

#### ○児島 正典 会員

1.はじめに 平成25年6月より入会しました公認会計士・税理士の児島 正典と申します。今まで、常に今が一番いいと思いつながら何とかやってきましたので、昔を懐かしむこともなかったのですが、イニシエーション・スピーチをさせて頂くことになり、いい機会と昔のことを振り返ってみると、後に自分がどのような人間になるか、そのきっかけとなるような原体験とでもいうものがあるものだな、と思えました。まずは、それからお話しようと思っております。



2.生年月日 1971年(昭和46年)8月19日に吉備津社社のすぐ近くの岡山市北区吉備津にて生まれました。私は祖父が始めた税理士事務所の3代目なのですが、この頃、祖父は税務署を退職し、税理士事務所を開業したようです。以来、40数年、税理士事務所を3代に渡り経営しております。祖父は岡山北ロータリークラブに入会しておりました、クリスマス家族例会に連れて行ってもらっていたことをよく覚えております。いつもは着な

いよそ行きのプレザーを着せてもらったことを誇らしく感じておりました。

**3.小学校時代** 小学校は岡山市立鯉山小学校に通いました。あまり騒いだりすることのない引込み思案な小学生でした。それを見かねたのか、祖父に剣道を始めるように言われ、それ以来、大学4年まで続けました。試合に負けてよく怒られていましたが、不思議ともう止めたとは思いませんでした。このころから一度始めたことは最後まで粘り強くやっていたように思います。あと、小学校の時の思い出として小学校6年生の時にマラソン大会で1位になったことをよく覚えています。それ以来、長距離を走ることが好きです。長距離走のいいところは我慢していれば流れが変わるところですね。

**4.中学校時代** 中学校は岡山市立高松中学校に通いました。剣道部に入っていたので、3年間丸坊主でした。道場連盟の大会で岡山県予選を勝ち抜き、日本武道館で試合をしたことをよく覚えています。試合の後、東京デイズニーランドに行けるのが楽しみで、この時ばかりは真剣に勝負にこだわりました。ここぞという時の勝負に強くなったように思っています。この頃は、英語が得意で将来は海外で働ける仕事に就きたいと思っていました。学生時代の将来の夢というものは、ころころと変わって行くものですね。

**5.高校時代** 高校は岡山県立岡山一宮高等学校に通いました。進学校であったため大学に行くための通過点というイメージが強いですが、この頃、氷室京介さんというミュージシャンのファンになり、今でもファンでコンサートにも欠かさず行っています。早いもので、今年で25年になります。今の髪型は中学時代に丸坊主だった反動と、氷室京介さんの影響を受けたものです。また、村上春樹さんの小説が好きになり、新作が出る度に欠かさず読んでいます。一度好きになると長いというのも特徴の一つですね。

**6.大学時代** 大学は横浜国立大学経営学部国際経営学科に通います。大学でも体育会剣道部に入り、お酒を飲む機会がかなりありましたが、結局飲めるようにはなりません。人生の楽しみが一つ奪われたようで残念です。大学3年より、公認会計士試験の受験勉強をはじめました。司法試験と違い、公認会計士試験は短期間で合格出来るところが特徴です。通常は2回か3回で合格するのが一般的であり、1回で合格する人も結構います。苦節といえば聞こえがいいのですが、ガラガラと9回の受験の末、31歳の時に合格しました。自分ではガラガラではなく、コツコツと勉強していたつもりです。

**7.監査法人時代** 公認会計士第2次試験に合格すると当時は会計士補となり、3年間の実務経験を積み第3次試験を受験し、合格すると晴れて公認会計士として登録出来ます。第3次試験を受験するには、監査法人で実務経験を積む必要があります。合格後、あずさ(当時は朝日)監査法人岡山事務所就職します。会計士業界では試験に先に合格した者が先輩となるため、年齢は全く関係ありません。私は、受験9回目でやっと合格したので、8歳年下の同期や先輩がいました。監査法人時代はとにかくよく怒られました。入所してから退職するまでずっと怒られていたように思います。当時は分かりませんでしたが、社会的責任の重さを考えると当然の厳しさであったと思います。また、いくら怒られても決して見放されることはなく、最後には助けてもらったことには深く感謝しています。その後、無事に第3次試験に1回で合格し、当時、父親が経営していた税理士事務所に移ります。

**8.公認会計士とは** よく、「公認会計士とはどのような仕事をするのですか。」と質問されることがあります。まだまだ、社会的認知度が低いことの表れであり、もっと社会にアピールすることが必要であると強く思います。公認会計士は財務諸表の監査を行います。財務諸表監査とは「企業を取り巻く多様な利害関係者のために、企業の公表する財務諸表が一般に公正妥当と認められた企業会計の基準にしたがって、企業の経営成績・財政状態およびキャッシュフローの状況をすべての重要な点において適正に表示するように作成されているかどうかを、独立の第三者であり、しかも職業専門家である公認会計士または監査法人が確かめ、その結果を意見として表明すること」とあります。経営者は会計年度ごとに決算書を公表しますが、それはただ単に経営者が主張しているだけであり、それだけでは信頼されません。そこで独立の第三者である公認会計士が決算書を本当に正しいかどうか監査し、確かに決算書は正しいですと決算書の信頼性を保証することがその役割です。公認会計士の役割の特徴は、その判断基準が依頼人の利益ではなく公正不偏性にある、というところにあります。依頼人である経営者の利益を考えれば、経営者の作成した財務諸表は正しいですとの意見表明をするべきところ、財務諸表には虚偽の記載があり信頼出来ません、との意見を表明せざるを得ないこともある、というところにその役割の意義があるのです。

**9.最後に公認会計士を目指す方々へ** 会計士業界の良いところはまず、公認会計士が職業的自由人と言われるように、自由であることです。監査法人という組織の中にあっても、個が埋没されると言うことはなく、確固たる自己を持った人が多いことです。裏を返せば、常に自分の意見が求められると言うことになります。男女を問わず個性的で魅力的な人が多いと思っています。また、能力によってのみ評価されると言うのも良いところです。新人だから、女性だからダメだと言うようなことは全くありません。裏を返せば能力がなければ仕事は回ってこないということになりますが、プロの世界ですので当たり前のことです。公認会計士になるために、受験勉強をすることが大事なのは当たり前ですが、色々な人に出会い、色々なものに触れ、色々な経験をすることで、確固たる自己を持ち、個性的で魅力的な人になり、いつの日か優秀な方々が同じ業界に入り、同じ仕事が出来ると楽しみにしています。自らも謙虚さを忘れず、プロフェッショナルとしていかにあるべきか、を常に問い続けて行きたいと思っています。

## クラブ情報

### 職場訪問

職業奉仕委員長 岡本浩三

職場訪問として、山陽放送さんに御世話になりました。実際の収録現場の場面を拝見しました。御馴染みのアナウンサーの御顔もみえて、楽しく参考に成りました。また機会を作っておりたいと思います。



### 例会情報

本日のメニュー (11月11日(ヘルシー和食))

麺物 黄韭鱈鮓滑子餡掛け天婦羅添え (滑子 大根おろし 蒲鉾 針京葱 黄韭)

天婦羅 (海老 南瓜 獅子唐 茄子 牛蒡)

小鉢 (翡翠茄子 卸し生姜 糸花鱈 美味出汁ジュレ) 御飯(岡山県産こしひかり) 香物(三種)

次回のメニュー(11月18日)

赤ピーマンのムースと帆立貝のマリネ、ガスパチョソース タチウオのポワレ タイム風味 ノイリー風味のバターソース

シェフ特製デザート コーヒー ホテル特製パンとバター